

子育て支援

子どもたちの声を施策に

できる限り反映していく



塚田 舞 議員

問 子育て支援が必要な状況が増えているが、町が実施している取り組みは。

町長 「坂城の子は坂城で育てる」をスローガンに、子どもの成長過程に合わせた、切れ目のない一貫した子育て支援を指して取り組んでいる。また、町独自に、不妊・不育症治療費の助成や第3子以降の保育料や保育園副食費、学校給食費の無償化に加え、町奨学金制度、高校卒業までの医療費助成など、子育て世帯の経済的負担を軽減して



若者・子育て世代支援パンフレット

町長 核家族化や共働き世帯が増加する状況において、こうした世帯が安心して働ける受け皿としてはもちろん、保育園や児童館が子どもの発達相

問 子育て支援施策の成果をどう捉えているか。

町長 核家族化や共働き世帯が増加する状況において、こうした世帯が安心して働ける受け皿として

は、子どもの成長過程に合わせた、切れ目のない一貫した子育て支援を指して取り組んでいる。また、町独自に、不妊・不育症治療費の助成や第3子以降の保育料や保育園副食費、学校給食費の無償化に加え、町奨学金制度、高校卒業までの医療費助成など、子育て世帯の経済的負担を軽減して

いる。全ての子どもが等しく心身ともに健やかに成長していかれるよう取り組んでいる。

問 子どもたちの声を施策に反映することへの町の考えは。

町長 中学生による「模擬議会」を毎年開催しているほか、高大連携事業により※「ベルアーチ」を設置するなど施策に反映してきた。今後も子ども

の意見聴取に努め、できる限り施策等に反映していきたい。

※「ベルアーチ」は坂城高校生の提案で、さかき千曲川公園に設置されています。



水出 康成 議員

学校給食

質を下げないシステムを

状況に応じ対応していく

問 小中学校給食費の無償化を継続し、質が下がらないシステムを作ってほしいとの声が寄せられた。給食材料費について設定費用を超える物価高騰の場合の対処は。

教育長 想定以上の物価高騰などによる不足が生じる場合は、その都度、状

問 食材のトレーサビリティ把握状況は。

教育長 食材産地、賞味期限、製造年月日、製造会社、異物混入の有無などを納入時に確認のうえ記録しており、問い合わせがあれば回答している。

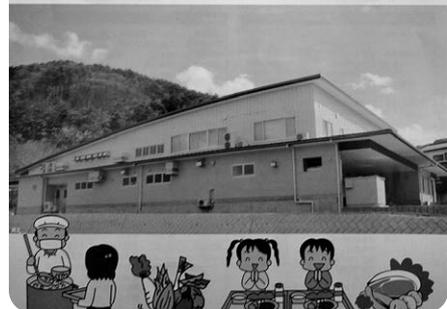
況に応じた必要な対応を検討し、児童生徒に質の高い給食の提供に努めていく。

問 複合施設については、建設に際して、町民からコンセプトや仕様への意見など声が寄せられる。町民意見の聴取や進捗状況の説明はどのように行っていくか。

町長 町民の皆様の幅広い意見をフィードバックして、基本計画を策定していく。また、状況に応じて町民の皆様に全体進捗をお知らせできるように検討していきたい。



坂城町食育・学校給食センター



財源を確保し継続する。複合施設

問 複合施設については、建設に際して、町民からコンセプトや仕様への意見など声が寄せられる。町民意見の聴取や進捗状況の説明はどのように行っていくか。

町長 町民の皆様の幅広い意見をフィードバックして、基本計画を策定していく。また、状況に応じて町民の皆様に全体進捗をお知らせできるように検討していきたい。